

獨立混成第十五聯隊

一月二十二日空襲戰鬥詳報

23708

昭和二十年一月
獨立混成第十五聯隊

(6)

一月二十二日空襲

獨島混成第十五聯隊(欠II)戦闘詳報

島ニ九〇八

一 戦闘前ニ於ケル彼我形勢ノ概要

本年當初ヨリ南西諸島ニ對スル敵機ノ行動ハ相當活發ニシテ
敵ノ侵攻企圖豫断ヲ許サザルモナリ(情報島別紙ノ如シ)
聯隊ハ主力ヲ以テ十二月八日新移駐地ニ轉進敵ノ熾盛ナル
砲爆撃ニ絶對優勢ナル對戰車對空機銃ニ必勝ヲ期
スル陣地諸施設ノ完成ニ邁進中ニシテ概ホ所望ノ域ニ達シタリ
尚一部旧守備地タル本部町ニ一部ノ兵力ヲ發置シ戰鬥資材ノ
前送ニ任シタリ

本二十日〇六三五沖繩全地區空襲警報發令セラルマ、聯隊直
チニ乙號戰備ニ移行シ對空戰備ヲ完整スルト共ニ常時情勢
即應ノ態勢ニテ陣地構築ヲ續行スリ
敵機ハ主トシテグラマン艦載機ニシテ四機ヲ單位トシ二三機ヲ

以テ來襲シロ六五〇一八三〇一五〇間絶々我上空ニ在リテ執拗ニ銃爆^煙ヲ實施セリ

ニ戦斗ニ影響音ヲ及ボシタル天候氣象ニ在リテ住民ノ狀況ハ天候ノ氣象

海波平穩ニシテ和風、相當濃度ノ断雲低ク垂レ敵機動部隊ノ來襲ニシテ敵機ノ地上攻撃ニハ絶好ノ機ヲ與ヘルノミナシ我對空兵器ノ威力ヲ減殺セシ事甚大ナリ

ニ住民ノ狀況ニ在リテ時局ニ對スレ認識極メテ低調ニシテ一部極度ニ敵ノ上陸ヲ危懼シテ、空襲警報發令サレバ老若悉ク附近山林及墓地等ニ退避シ解除セラレモ容易ニ就業セズ、悉ク郷心ヲ民防空ノ觀念ハ全然之ヲ認メ得ズ、此種訓練ニハ相當ノ努力ヲ要ス

ニ彼我ノ兵力、敵戦法、敵ノ瓦斯使用ノ種類

敵機ハガラマン艦載機ニシテ延四〇〇機ニ及ブモ其ノ實數ハ七〇乃至八〇機ヲ出テテハモノト判断ス

我ノ展開兵力

聯隊本部、第一、第三大隊主力ニシテ直接敵機ノ交戦セシハ

第三大隊機關銃中隊第一小隊第二分隊及

第九中隊、第一小隊第二分隊ノミナリ

一部本部町ニ設置セル兵力ハ將校以下七五名ハ、一時旅團

松井中尉ノ指揮下ニ戦斗セリ

敵戦法

敵機ハ四機ヲ單位トシ二一三群ヲ以テ來襲シ我ノ對空兵器

ナキ上空ヨリ雲上ヲ飛翔シ雲間ヨリ突如降下シ飛行場ヲ急降數波トナリ爆撃ス

急降下爆撃ノ六十度以上ノ角度ヲ以テ機銃掃射ヲ加ヘ

實施一機四彈ヲ投下シ我が對空射撃ノ猛射ヲ蒙ルモ
敢テ意ニ介セザルモノ、如ク闘志ハ熾盛且大膽ニ行動セリ
3 急降下爆撃手間ハ一機ハ其ノ上空ヲ旋回シ我が對空火器ヲ
偵察或ハ寫シ具撮影ニ任ジ爆撃手效果ヲ確認シヤルモノト判断
セラレ

4 敵機ノ來襲ハ反復執拗ニシテ海岸線飛行場附近ノ要点
ヲ銃撃シ將來ノ上陸ヲ爲周到ニ偵察セルモノト判断ヲ

敵使用彈種、瓦斯使用ノ有無
五〇—一〇〇キ程度ノモノナルモ水釜附近ニ五〇〇キ程度ノ彈痕
二個ヲ發見ス

旅團情報並ニ第三大隊ノ報告ヲ綜合スルニ一部黃燐燒夷彈
ヲ使用セルモノ、如シ

四 各時期於テ戰鬥經過及通信連絡ノ狀態

○六五〇—一五〇〇迄七波ノ攻撃手ヲ反復執拗ニ實施セル外
一五〇〇以降一八三〇ニ至ル間ハ斷續的ニ一機我ガ上空ニテ
各期ヲ通ジ敵機ノ行動ハ飛行場ヲ爆撃スル外海岸線特
ニ座喜味、西方海岸、砂辺、津堅島、飽瀨等ヲ執拗ニ銃撃
スルヨリ判断シ敵ノ上陸前、上陸準備ノタメ、我が情況ヲ偵察
ナシヤルモノト判断セラレ、各隊ハ極力陣地ノ秘匿ニ努メ對空射
撃手部隊ノ如キモ必墜ヲ期スル至近距離ノ射撃手ノミヲ實施シ
兩餘ノ射撃手ハ絕對ニ之ヲ禁ジタリ 爲ニ相當ノ被彈アリ
我方何等ノ損害ヲ敵機一ツ撃墜スルニ至レリ

(情況別紙要圖ノ如シ)

通信連絡

ノ有線

空襲直後ヨリ約二時間旅團キハ連絡阻絶以外一部通信線
ヲ利用セル第二大隊トノ連絡意ノ如クナラス 在本部隊邊

トノ連絡ハ一ハロロニ至ルニ遂ニ通話レ得ズ

2. 無線

無線ハ交信回数極メテ僅小ニシテ當日、速急ノ使用ニ堪ヘズ
指揮連絡上、多大ノ支障ヲ生ゼリ

五 將來ノ參考事項

- 1. 陣地施設等ニシテ偽裝十分ナラザル箇所ニ對シテハ爆撃ス
故ニ陣地又ハ施設ハ工事中心ト雖モ十分ナル偽裝ヲナスノ要アリ
- 2. 敵機ノ在空間自動車ノ通過スルモノ傳令ニシテ地形ノ利用ニ對
スル著意ヲヤモノ本部指揮所等ニ不用意ニ増集又ハ出入スル
モノ等對空遮蔽ニ就テハ改善ノ要大ナリ
- 3. 横穴式洞窟、銃撃ヲ受ケ地方人ニシテ一時ニ多數ハ死傷者
ヲ出セル例アリ

横穴ハ爆風除ケテ施設シ或ハ開口部方面ヲ飛行
ノ遮蔽ニ成ルハ地形ニヨリテハ部下ガタル後横穴トスル如キ事有之

必要トス

- 4. 空襲時搭載ニ任ジアル者急ニ海中ニ跳込ミタル際陸地ハ着
カントシテ体カヲ消耗シ海没セルモノ多數ヲ出セルハ沈着者冷
静海上ニ浮上シテ救護ヲ待ツノ著意ヲ指通スルノ要アリ

戦闘前ニ於テノ情報寫

一月一日〇九三〇受領

〇九一三沖繩本島全地區空襲警報發 B29一機中飛行場上空存

一月三日〇九一五 受領

〇九一五 B29一機屋宜上空ニ在リ 絲滿上空敵機編隊來襲セリ

一月三日一〇〇〇

B29二機〇八四〇中飛行場ヨリ侵入シ沖繩本島南半部ヲ偵察セリ

一月七日一三〇三 受領

一二五〇小録基点一二五〇度七〇軒不明機三機近接中

一月九日〇八五五 受領

〇八五五 遊警戒警報發令 沖繩本島全地區敵編隊近接ノ徴アリ

一月十一日一三〇〇 受領

一二五〇 B29一機絲滿上空旋回中

一月十七日一〇〇〇 受領

○九四五 B29 一機東南ヨリ侵入○九五。雲上ヲ東南進中高度六〇〇〇
一月十七日一六三五 受領

敵機動部隊三群ハ補助艦ヲ増強シテ南支那海及
台湾東方海面ニ遊弋シテ多間接的ニ呂宋方面ノ作戦ヲ支
援センガ爲左支那空軍ニ呼應シ南西諸島、台湾、支那海岸
ニ對シ我ハ増援遠所ノ攻撃手ヲ再行スニ算大下
マリアナ群島方面ノ別動部隊ハ南西諸島、マリア方面ニ増援ス
ルノ微了

一月二十日一三〇〇 受領
一二三六 敵大型機一機石垣島西南方ヨリ侵入西元方。去シ
高度 三〇〇

一月二十日一五一〇 受領
一三二四 B24 一機ニ七〇度ヨリ侵入半良港上空ヲ旋回ニニ〇度
脱去スリ 高度一五〇〇

戦闘中得タル情報及命令

一月二十日一五一五 受領

○九〇〇 敵機ハ讀谷山飛行場北側ニ確決性ガス彈ヲシキモノ
一個投彈セリ 煙ノ色ハ黄

二月二十日一三三〇 受領

第三大隊報告

敵機ハ△〇ニ高地北方ヨリ米松林内部落ニ一個投彈現在四戸
燃焼中 爆發當時煙ノ色黄色ナルニヨリ直チニ現場ニテ
調査セシモガス彈ト判定スバキモノヲ認メズ
黄燐燒夷彈ト判断ス

一月二十日一七三七 受領

旅團命令

一各地區隊本夜海上監視ヲ嚴ニス
一本日ノ戦況ヲ司令部ニ報告ス

五 明日敵機攻撃ヲ予想シ對空處置ヲ遺憾ナカラシム
四 一日二十二日一七三五 發令

南地區隊命令

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百

一 今朝來執拗ニ攻撃セシ敵機ハ猶近海ニ在リモ、如ク 情勢ノ推
移ハ予斷ヲ詳シズ

二 地區隊ハ今夜對空對海上警戒ヲ至嚴ナラシメ、夜ヲ徹シ
明ニ至リテ天朝以済ノ戦斗ヲ準備セントス

三 各隊ハ今夜對空特ニ對海上警戒ヲ至嚴ナラシメ、情勢ニ即應ス
ル態勢ヲ以テ明ニ至リテ對空對海上警戒ヲ準備スル

四 第一大隊ハ吉加手納、水釜附近ノ對海上警戒ヲ至嚴ナラシム
五 第三大隊ハ砂辺附近ノ對海上監視哨ヲ強化セント共ニ一部ヲ桑江

附近ニ散遣シ比谷村沿岸ノ對海上警戒ヲ嚴ナラシム
六 第二大隊ハ海上監視哨ノ所在地方監視哨ト密接ニ連絡スル

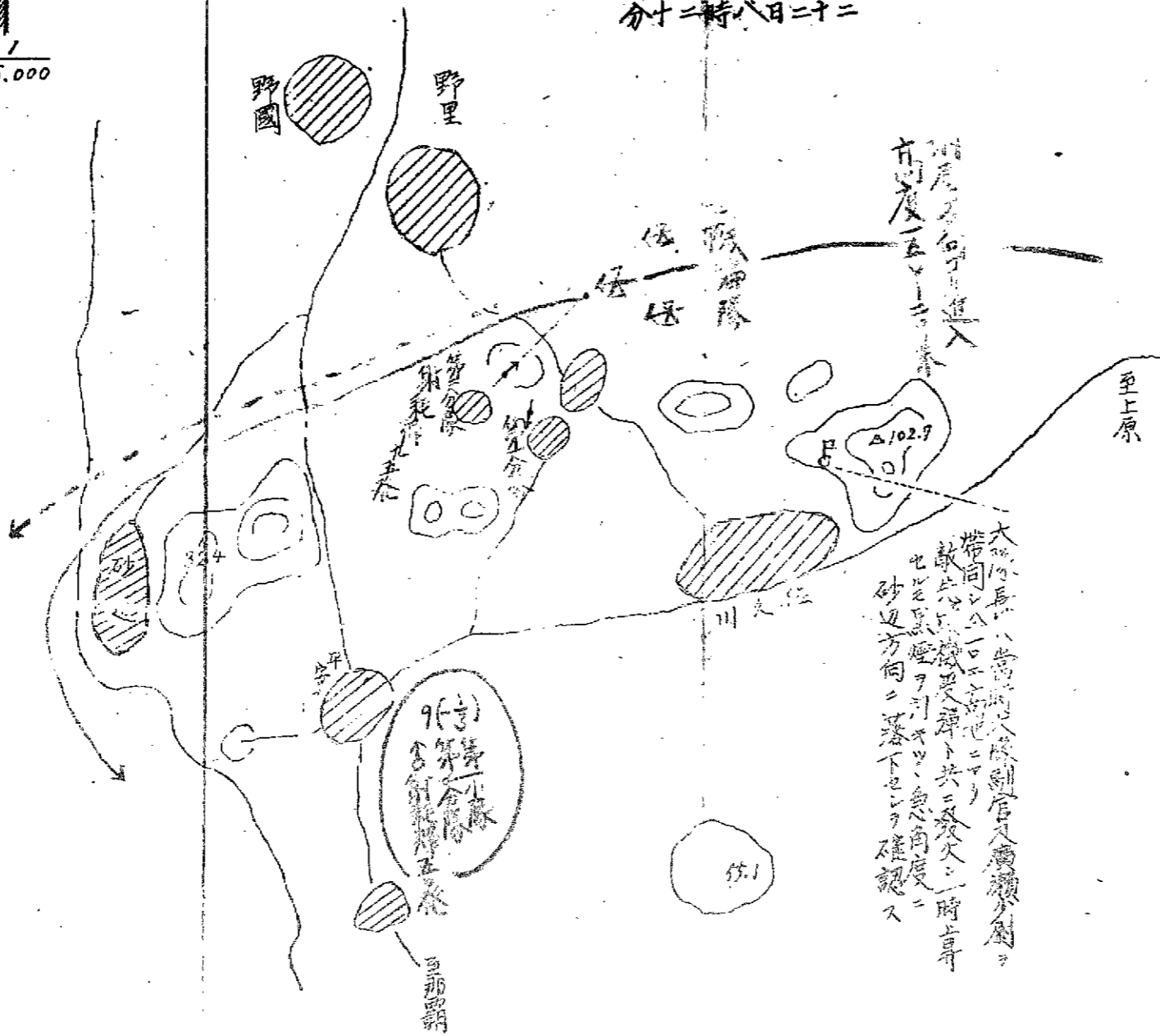
七 各隊ハ明ニ至リテ對空對海上警戒ヲ至嚴ニ準備スル
八 予ハ戰斗指揮所ニ在リ

南地區隊長 美田大佐

敵機墜擊情況要圖

二十二年八月二十日

↑
1
25,000



敵機隊本部隊
第三機関銃中隊
第一小隊第二分隊

小隊長 渡谷中尉
分隊長 大宮軍曹
射 手 佐藤一等兵

敵機隊本部隊
第一小隊第二分隊

大敵機隊本部隊
第一小隊第二分隊
敵機隊本部隊
第一小隊第二分隊
砂辺方向ニ墜下セシラ確認ス

至上原

9(号) 第一小隊
分隊長 佐藤一等兵

